

公 表 日

令和 4年 2月 2日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和3年度 九州インフラDX推進検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 藤巻 浩之 福岡市博多区博多駅東2-10-7
契約年月日	令和 4年 2月 2日
契約業者名	(一財) 日本建設情報総合センター
契約業者の住所	東京都港区赤坂5-2-20
契約金額	41,932,000円(税込み)
予定価格	41,943,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 4年 2月 3日
履行期間(至)	令和 4年 8月31日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和3年度九州インフラDX推進検討業務
2. 履行場所 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
国土交通省 九州地方整備局
3. 契約の相手方 住所：東京都港区赤坂5-2-20
会社名：（一財）日本建設情報総合センター
電話：03-3505-2981
4. 契約適用法令 会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102号の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由
 - 1) 当該業務の目的
本業務は、九州のインフラDX推進を目的に、BIM/CIM原則適用に向けた課題を整理した上で対応方針案を検討し、発注者がモデルを閲覧する技能に加え、BIM/CIMモデルの操作や編集する技能の習得を目的とした研修プログラム、研修コンテンツの作成、インフラDX推進に関する検討を行う。
 - 2) 業務の内容
 1. 計画準備
 2. BIM/CIM適用に向けた検討
 3. 発注者を対象としたハンズオン研修プログラム（案）の作成
 4. 発注者を対象としたハンズオン研修実施のためのテキスト及びサンプルモデル等の作成
 5. BIM/CIMモデルを活用した発注者向け勉強会
 6. 報告書作成
 - 3) 契約に付する理由
本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。
参加可能業者が最低42者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を32者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書が提出され、1者は参加資格を有していた。
参加資格を有する参加表明書提出者のうち2者を技術提案書の提出者として選定し、1者から技術提案書が提出された。
建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方と選定した者は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績、実施方針及び特定テーマに係わる技術力を備えていると判断され、技術提案を総合的に判断しても優れた提案が行われていたものである。
よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計法第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)
企画部 技術管理課長